

# 緊急事態宣言発出中 ～2月7日(日)まで

## 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、 不要不急の外出・移動は自粛してください

※このページの情報は、令和3年1月19日現在のものです。

### 新型コロナウイルス感染拡大防止のための、大阪府からの要請

■区域：大阪府全域

■期間：1月14日～2月7日(日)

#### ■実施内容

①府民の皆さんへ：不要不急の外出・移動の自粛、特に20時以降の不要不急の外出自粛を徹底

※医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要な場合は対象外。

②事業者の皆さんへ：営業時間の短縮、イベントの開催制限など

◇施設について、営業時間の短縮などを要請（飲食店などの営業時間を午後8時までに短縮するなど）

◇イベントの開催について、規模要件など（人数上限・収容率など）に沿ったイベントの開催などを要請（人数上限5000人、かつ、収容率50%以下の要件に厳格化、など）

※大阪府の要請内容について詳しくは、府ウェブサイト（<http://www.pref.osaka.lg.jp/kikaku/corona-kinkyuzitai/index.html>）をご覧ください。

#### ■緊急事態措置コールセンター（☎06(4397)3268）を設置しています

大阪府では、法に基づく営業時間短縮要請や、「感染防止宣言ステッカー」についての府民や事業者からの問い合わせに対応するため、同コールセンターを設置しています。

とき 土・日曜日、祝日を除く、午前9時～午後6時

#### もうお済みですか？ 期限が迫っています

以下の給付金・補助金などの申請期限が迫っています。対象者でまだ申請していない人は、お早めに申請してください。

##### ■ひとり親世帯臨時特別給付金

申請期限 2月26日(金)

問い合わせ こども未来室（内線205）

##### ■町会・自治会コロナ対策補助金

申請期限 3月1日(月)

問い合わせ 人権・市民協働課（内線469）

※上記のほか、本市ではさまざまな支援を実施しています。詳しくは、市ウェブサイト（新型コロナウイルス関連情報まとめページ）をご覧ください。



#### 選べるコロナ対策用品、全世帯にお届けします！

～本市独自の新型コロナウイルス感染症対策を実施～

新型コロナウイルス感染症対策の強化と、「新しい生活様式」に対する市民生活の支援を目的に、皆さんに活用いただける用品などを全世帯に支給します。新型コロナウイルス感染症対策としてご活用ください。

##### 受け取り方

2月下旬より市内全世帯に、コロナ対策用品を掲載したカタログをお送りします。同封の返信はがきに希望する用品などの必要事項を記入し、返送してください（切手不要）。※専用のウェブサイトからも申請できます。

##### 詳しいお知らせはがきをお送りします

2月上旬に、コロナ対策用品の内容や支給方法などについて、詳しくお知らせするはがきを各世帯に送付しますので、ご確認ください。

※申請期限など詳細は決まり次第、市ウェブサイト（危機管理室のページ）などでもお知らせします。

問い合わせ 新型コロナウイルス感染症対策本部（内線224）

Contribution- 寄稿-



富田林市名誉市民

岸本 忠三さん

免疫学者、大阪大学特任教授

本市出身で免疫学の世界的な権威である岸本 忠三大阪大学特任教授より、昨年4月に引き続き、市民の皆さんに向けた寄稿をいただきましたので、ご紹介します。  
(令和2年12月21日寄稿)

コロナを正しく恐れよう

寒期の到来とともにコロナ感染者が急増している。寒さと乾燥の好きなウイルスにとつては最もよい環境である。

コロナは人から人に感染する。主に感染者の飛沫から感染する。従って、マスクの着用は必須である。全員がマスクを着用することにより、80割の感染は防げるといふ。

最も厄介なことは、感染していても症状のない人がいることと、症状の出る2〜3日前が最も感染力が強いということである。従って、多人数でパーティーや会食をすれば無症状の元気な人から感染が広がること

になる。

このように無症状の人が移動する「GOTOトラベル」などは全国に感染を広げることにつながることは容易に予測できる。

インフルエンザにタミフルがあるように、コロナにはこれに効く薬はない。エボラ出血熱に対する抗ウイルス薬「レムデシビル」がコロナウイルスに対する薬として使われるが、WHOは効果なしという。

重症化とともにインターロイキン6 (IL-6) と呼ばれる分子が大量に出て肺の炎症が強くなり、血管もダメージを受けてしまう、いわゆるサイトカインス

トームと呼ばれる状態になる。この時は炎症を抑えるステロイドホルモンと、IL-6を抑える薬「トシリズマブ」が使われる。しかし確実に効果があるという保証はない。

切り札はやはりワクチンであろう。緊急性から今までに全くなかった、ウイルスの一部をコードするメッセンジャーRNA (mRNA) をワクチンにし、人にウイルスに対する抗体を作らせるといふ初めての試みである。現在欧米で使われ始めたが、これがうまくいくことを期待したい。

発熱などの症状があれば「かかりつけ医」に相談を

発熱などの症状があり、新型コロナウイルスに感染している疑いがある場合、まずは「かかりつけ医」やお近くのクリニックなど地域の医療機関に電話相談し、受診してください。

「かかりつけ医」などで診療や検査ができない場合は、それらが可能な他の診療機関や

検査機関をご案内します。なお、受診の際には、必ず先に電話連絡の上、指示に従って受診してください。「かかりつけ医」がいない場合は、この機会に「かかりつけ医」を持ちましょう。

問い合わせ 富田林保健所  
☎(23)2681

